（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	e スポーツを活用した地域内外の交流創出・若者活躍プロジェクト
事業主体 （連絡先）	一般財団法人塩尻市振興公社 塩尻市大門一番町７番１号　ウイングロード２階
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	６，７３８，６３０円（うち支援金：４，５７６，０００円）

事 業 内 容

地方部において課題となっている、都市部と比較した際の教育機会・体験機会の格差や若年層が活躍できる場の少なさ等に対して、近年、世界規模で注目が高まっている「e スポーツ」に着目した事業を実施することで課題解決を図るとともに、地域内外の人々の交流機会を創出し、地域の賑わい創出や愛着の醸成を目指す。

① シニア e スポーツサミット 2025
② 学生主体の e スポーツイベント
③ 若者の居場所づくり
④ 多文化交流

【高校生が企画/運営するイベントの様子】

事 業 効 果

A) シニア大会（延べ 154 名程度（目標：70 名程度））や学生イベント（125 名（目標：160 名））、多文化交流（39 名（目標：30 名程度））を通じて世代・地域・属性を超えた交流機会を創出。観光ツアーや企業参画も含め、多様な主体が関わる持続的な関係形成と地域内外のつながり拡大に寄与した。

B) 学生主体のイベント運営や居場所づくり（6.6 名／回（目標：5～10 名／回））を通じて、企画力や協働力など実践的スキルが向上。地域資源を活用した活動により行動変容や自己肯定感の向上が見られ、地域への愛着や参画意識の醸成につながった。

C) e スポーツを介した交流により言語や文化の壁を越えた関係構築が進展。外国人住民と地域住民の相互理解が深まり、イベント後も継続的な交流が生まれるなど、多文化共生に向けた実践的な基盤形成に寄与した。

【目標・ねらい】

A) 多世代・多様な交流の創出
B) 若者の活躍機会と地域愛醸成
C) 多文化共生と関係性の深化

※自己評価【 A 】

【理由】
「e スポーツ」をフックに、世代や地域、属性を超えた多様な交流機会が創出でき、新たな関係構築を実現するとともに、core 塩尻を拠点としたイベントの複数開催により、関係人口の拡大と地域の賑わい創出にも寄与した。

今後の取り組み

シニア・学生・多文化の各事業で得た成果を統合し、各事業が波及効果を生みながら事業内容の拡充を図るとともに、交流と学びが循環するモデルとして発展させる。スポンサー企業の拡大や協賛メニューの多様化、参加費収入の検討、行政・関係団体との連携強化により財源確保を実現し、各事業の自走化を目指す。併せて他地域との連携強化や拡大とともに、プログラムの深化により継続的な参加者確保と事業価値の更なる向上を図り、事業の継続性を確保する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある